

## 第56回試験研究成果発表会（野菜Ⅱ）発表概要

【日時】平成31年1月30日（水）13:00～16:55

【会場】農林総合研究センター 農本館（千葉市緑区大膳野町 808）

### 発表1 成果発表（13:10～13:35）

結露センサー付き複合環境制御装置を用いたミニトマト好湿性病害の抑制技術  
病理昆虫研究室 福田 寛

「まもるんサリー」という結露センサー付き複合環境制御装置を用いて、ハウス内の湿度及び温度をコントロールし、ミニトマトを栽培し、好湿性病害の発生が抑えられるか試験しました。その結果、ミニトマト疫病、葉かび病、斑点病、灰色かび病が抑制できることが明らかとなりました。



ミニトマト灰色かび病

### 発表2 情報提供（13:35～14:05）

スマート農業をリードするオランダの先進的な施設野菜生産  
—短期海外研修報告—

担い手支援課 引地 睦子

オランダでは、産官学が連携して環境制御技術等の研究開発が進められ、最先端技術に精通したコンサルタントが生産現場への普及を行っています。また、農家はICTによる雇用管理、外部への作業委託など合理的な営農システムにより、世界に類を見ない効率的な施設野菜生産を行っています。千葉県で懸念される労働力不足への対応やスマート農業の推進に向け、オランダへの視察研修を実施しましたので報告します。



コンサルタントによる  
ICTの活用

**発表3** 情報提供 (14:05~14:30)

迷っていませんか？促成トマトの炭酸ガスの効率的な施用方法

ー生産者の圃場における調査結果からー

野菜研究室 木村 美紀

農林総合研究センターでは収量 30%アップを目指した促成トマトの炭酸ガス施用技術の開発を行っています。生産者の圃場での調査結果を紹介するとともに、効率的な施用を行うためにはどのような点に注意すればよいか解説します。



炭酸ガスを施用した促成トマト

**試験圃場視察** (14:30~15:00)

野菜研究室圃場見学

- ①トマト、②イチゴ、③キュウリを3班に分かれて見学します。

**発表4** 成果発表 (15:15~15:35)

秋どりコカブの優良品種の選定

畑地利用研究室 高野 幸成

秋どりコカブでは、収量及び外観品質が良好なことに加えて、病害や障害の発生が少なく、かつ葉軸が強くて収穫調製作業のしやすい品種が望まれています。そこで、「第65回千葉県野菜品種審査会」を開催し、優良品種を選定しましたのでその審査結果を紹介します。



コカブ品種審査会 (立毛)

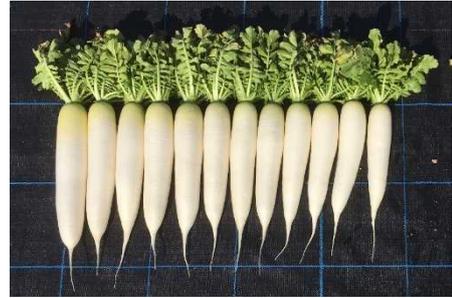
**発表5** 成果発表（15:35～15:55）

冬どりダイコンの優良品種の選定

—第69回全日本野菜品種審査会—

東総野菜研究室 千吉良敦史

冬どりの露地ダイコンでは、寒害により腐敗株や規格外品が多発し、収量及び秀品率が低下します。そこで、2月どりダイコンを対象に、「第69回全日本野菜品種審査会」として種苗会社より出品された品種を栽培して特性を明らかにし、優良品種を選定しました。審査された32品種のうち入賞品種は、「SC3-295」、「No.4856」、「SC3-643」、「NR-522」、「KAD-226」、及び「SC4-287」の6品種となりました。



ダイコンの品種審査会（収穫物）

**発表6** 成果発表（15:55～16:15）

冬どりコマツナの優良品種の選定

野菜研究室 矢内 浩二

コマツナは周年を通じて安定した需要があり、冬どりの露地栽培でも収穫可能な、耐寒性が強く気候の変動を受けにくい、草勢の安定した品種が求められています。そこで、この作型を対象に「第65回千葉県野菜品種審査会」を開催し、収量性、外観品質等の良い優良品種の選定を行いました。審査結果や選定した優良品種の特性について紹介します。



コマツナ品種審査会の様子

**発表7** 成果発表 (16:15~16:35)

6月どりスイートコーンの優良品種の選定

野菜・花き研究室 宮本 直子

3月播種6月どりスイートコーン（トンネル栽培）の優良品種は「味来 1364」、「THX-166」、「プレミアムスイート」、「MSG-1203」、「わくわくコーン 88」、「Y510R」です。各品種の特徴を紹介します。



スイートコーン品種審査会（立毛）

**発表8** 情報提供 (16:35~16:50)

船便輸送を想定した「べにはるか」の品質管理技術

ーガス制御フィルム及びキュアリング処理が腐敗に及ぼす影響ー

流通加工研究室 藤井 雄樹

千葉県産サツマイモの「べにはるか」は、マレーシア等の東南アジアに輸出されており、輸出量が年々増加しています。しかし、船便での輸送中に低温障害による腐敗が発生することがあり、課題となっています。

そこで、実際の船便輸送時の温度及び湿度条件を調査するとともに、輸出温度を模した状態を作り、ガス制御フィルム及びキュアリング処理が「べにはるか」の腐敗発生に及ぼす影響を検討しました。



サツマイモの貯蔵試験